

No. 10 Jさん	26歳（男性）
I. 前就労期（学歴, 職歴, 生活習慣, 対人行動, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校時にいじめで不登校に。中学校の登校は半分。高校はすぐに中退。 ・ この時期の記憶は「ぼやけて」いる。「楽しいってというのがどういう感じか分からない」 	
II. 未就労期（きっかけ, 生活習慣, 対人行動, 気持ち, 継続要因） <ul style="list-style-type: none"> ・ そのままの生活が7年間続く。生活は昼夜逆転で。1日1食しか食べない。 ・ 一時パソコン教室に通うなど外出はあった。現状を克服したいとはずっと考えていた。 ・ 家族とは、仲は悪くなかったが、張り詰めた感じを持っていた。 	
III. 被支援期（きっかけ, 支援内容とその長短, 影響や変化, 気持ち） <ul style="list-style-type: none"> ・ 自立塾の前に別のNPO 団体に合宿形式で通算2年。テレビで知った。 ・ 家から出られてよかったが、責任が無い状態での模擬就労体験が「ままごとみたい」。 ・ 朝起きる時間なども不規則なまま。メンバーを「ぬるいな」と感じスタッフと多く話す。 ・ 「話せば変わる」と思い、身の上を沢山話すことで傷ついたりもした。 ・ その後自立塾の母体との合同企画で国外に1年。スタッフに「行け」と言われて参加。 ・ そこでは飲食店開店の準備のために規則正しく忙しく働く。仲の良い友達（女性）ができる。 ・ 帰国後は自立塾で寮生活。自立塾関連の飲食店に「やれ」と言われて勤務。初めは接客などで客の質問に答えられなかったりもしたが、徐々に覚えていった。 ・ 支援で良かった点は「強制力・拘束力」。自分で決められなくても、やれば色々覚えていく。 ・ 改善点はスタッフとの旅行などのレクリエーションがしたい。スタッフと話す時間がない。 ・ 支えについては、「対ヒトの支え」は「おかないようにしている」。理由は「それがなくなったら揺り動かされるから」。相手に認めて欲しいという気持ち支え。 	
IV. 現在（就労のきっかけ, 気持ち, 成長可能性, 今後の考え） <ul style="list-style-type: none"> ・ そのまま飲食店の社員として週に5日勤務。一般のアルバイトと協働。調理も担当する。 ・ 職場の人とは楽しく会話できない。笑う人見て「楽しそう」と思う。 ・ 自分は「モクモク」と手を動かす。帰ると寝るだけ。 ・ 今後の目標は親の援助からの独立。通信制高校にも通学中。 	